第2回名取市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画策定委員会概要報告書

令和８年 10 月９日

名取市長　山田　司郎　様

健康福祉部介護長寿課
課長補佐　髙橋　幸信

第 2 回名取市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画策定委員会を開催しましたので、その概要を下記のとおり報告いたします。

記

＜日　時＞　令和８年 10 月５日(月) 午後１時 10 分から午後２時 43 分

＜会　場＞　名取市役所西棟１階会議室

＜出席者＞

委　員：我妻委員長、洞口副委員長、横井委員、大宮委員、鈴木委員、村尾委員、佐々木委員、柏倉委員、佐伯委員、野崎委員、千葉委員、丹野委員
（欠席：千田委員、金森委員）

事務局：中山部長、橋本課長、菅原主幹兼係長、遠藤主幹兼係長、安齋主幹兼係長、佐藤技術主幹、髙橋

傍聴者： なし

＜内　容＞

【第２回 名取市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画策定委員会】

１.開　会　　司会：髙橋補佐

２.あいさつ　　我妻委員長

３.協議事項

（１）名取市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画について

①計画の骨子案について‥資料１　（事務局より）

委　員：11 ページ　グラフでの変化が見えづらいので工夫してほしい。

事務局：工夫する。

委　員：８ページ　福祉人材の安定的な確保及び定着支援について、職場環境や人材育成の施策を盛り込んだ方がよい。

事務局：今後の施策の方向性の中で検討する。

②第 10 期計画における重点目標について‥資料２　（事務局より）

委　員：地域包括ケアシステムの図や文章の中に民生委員の役割（行政や地域包括支援センターへつないでいるという役割）が抜けている。そのため、文章からは住民が

それぞれ自分で機関にいってケアしてもらっているように感じるので検討していただきたい。

事務局：今後の施策の方向性の中で検討する。

委　員：町内会や区長、子ども会の縮小により従来の地域での見守り体制が難しくなっている。「通いの場」の認知度向上や立ち上げ方法の周知、認知症になっても孤立させない地域づくりが必要である。

事務局：通いの場の認知度向上や立ち上げ方法の周知は現在も実施しているが、今後も継続していく。第４章での盛り込みも進める。

委　員：介護予防サポーターのなとりポイントとは？

事務局：介護予防サポーターのうち、条件を満たした方で通いの場の運営補助など支援をいただく場合になとりコインという買い物に利用できるポイントを付与している。ボランティア活動に対して付与する事業である。

委　員：重点目標とした認知症施策は、優先度が２番目でもよいと思う。重点目標の順位について検討してはどうか。

事務局：引き続き検討する。

４　閉　　会

次回開催予定：11 月 20 日（金）14：00